

4. 1) (2) つり上げ式介護リフト用つり具の種類と適用

* 要介護者の心身機能・体格や介助者の介助能力・体格、使用目的・場面、使用環境等によって最適な種類、サイズのものを使い分けることが重要！！

種類	特徴			禁忌
脚分離型 (布状・メッシュ)	<ul style="list-style-type: none"> ・シートの脚部が二股に分かれており、座位姿勢で着脱できる（臥位姿勢でも着脱できる） ・適切に装着すれば吊り上げられた時の苦痛が少ない ・汎用性が高く（多様な身体状況に利用でき）、ベッドと車いす間の移乗だけでなく、トイレや入浴の際にも活用できる 	ローバック型：頭を自分で支持できる場合に使用	4点づり：首の角度が調節できない	<ul style="list-style-type: none"> ・股関節の疾患などによって関節の安静を保持する必要がある場合 ・拘縮や褥瘡などによって、骨・関節・皮膚などに痛みや不快感がある場合
		ハイバック型：頭を自分で支持できない場合に使用	4点づり：首の角度が調節できない 6点づり：首の角度を調節できる	
シート型 (布状・メッシュ・人エムートン)	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のシートでできており、臥位姿勢、膝立ち位で着脱する（座位姿勢で着脱できない） ・適切に装着すれば吊り上げられた時の苦痛がほとんどない ・車いす上に敷いたままにしておいて移乗介助できる。 ・メッシュ型が入浴の際に適している ・人エムートンは、常時、ベッド上に敷いて使用できる。肌触りが非常に良く、保温性・吸湿性・弾力性・撥水性が高い。これらの特性により褥瘡予防効果がある。洗濯機で丸洗いができ、耐熱性があるため、高圧蒸気滅菌もできる 	ローバック型：頭を自分で支持できる場合に使用	4点づり：首の角度が調節できない	
		ハイバック型：頭を自分で支持できない場合に使用	4点づり：首の角度が調節できない 6点づり：首の角度を調節できる	
ベルト型 (セパレート型)	<ul style="list-style-type: none"> ・2本のベルトまたは2枚のシートで腋窩と大腿部を支えてつり上げる ・着脱が最も容易で、あらゆる介助場面での使用が可能であるが、要介護者の股関節・肩関節・肩甲帯の固定力が弱いと落下の危険性が高く、痛みなどの苦痛が生じやすい 			<ul style="list-style-type: none"> ・股関節・肩関節・肩甲帯の固定力が弱く、つり上げたときに、臀部が落下した姿勢になる場合
ハイジーン (トイレ用)	<ul style="list-style-type: none"> ・脚分離型の臀部のシート部分を大きく開放した形状で、座位姿勢で着脱できる ・つり上げた状態で下着やパットなどの着脱や臀部の洗浄ができる（おむつの着脱は困難） ・着脱が脚分離型よりも容易で、あらゆる介助場面での使用が可能である。 ・要介護者の股関節の固定力が弱い場合、臀部が落下した姿勢になりやすいため、胸ベルトがついているタイプやベストで上半身をサポートするタイプ（つり上げるにしたがいで体重で胸を押さえるタイプ）などがある 			<ul style="list-style-type: none"> ・股関節の疾患などによって関節の安静を保持する必要がある場合 ・拘縮や褥瘡などによって、骨・関節・皮膚などに痛みや不快感がある場合
シャワー キャリア型 (いす・座面型)	<ul style="list-style-type: none"> ・座位姿勢で入浴するときなどに使用する ・つられたときの圧迫感・拘束感がなく、座面と背もたれによって安心感・安定感がある 			
その他 (付属品)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヘッドサポート」ローバック型の吊り具とセットで使用して頭部を支える。自分で頭を支えられない、首の角度を維持したい場合に使用する ・「休足スリング」足部を支えて水平状態つり上げたい場合に使用する。リフトにつり下げられた時の乗り心地がよくなり、尖足予防にも効果がある。 			